



秋田西高新聞

発行所

秋田県潟上市天王
字追分西26-1
秋田県立秋田西高等学校
広報出版委員会
☎ 018-873-5251
印刷 (株)八郎潟印刷
☎ 018-875-4005

高校生活に満足しているか
満足 約8割
「高校生活に満足しているか」という問い合わせに対し、「はい」と答えた人が80.3%、「いいえ」と回答した人が19.7%という結果になった。「はい」と回答した理由として、どのクラスからも多く挙げられていたのは「友達と話すことが楽しい」であった。高校で出会った仲間と学校生活を共にし、切磋琢磨しながら過ごしてきたこの三年

3月1日(土)午前十時から「卒業証書授与式」が挙行される。
晴れて旅立ちの日を迎える三年生に対し、アンケート調査を行った。

卒業生アンケート
3年間を振り返る

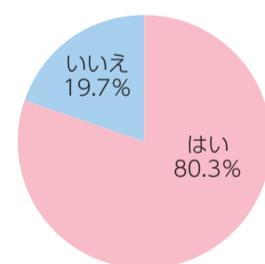
校章の由来

校章は、中心に校名の「西」をえ、外側に県のシンボルである「落」を配し、緑の新鮮さを表すとともに、教育方針(豊かな心、調和の姿、創造の道)を表わしている。

また、三本の「ペン」は知性、品性、体力に優れた健康で調和ある生徒の成長、発展を念願したものである。

記述が見られた。

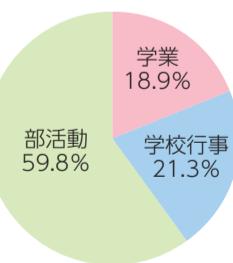
★高校生活に満足しているか



★後輩に向けて、高校生活を充実させるためのアドバイス

- メリハリをつける(勉強と遊びの切り替え)
- 自分が楽しいと思うことを貫く
- 志望する大学を早々に決める
- 学業も部活動も行事も全力で取り組む
- 1・2年のうちに勉強しておこう
- 上手に手を抜く
- 友達と過ごす1日を大切にする
- 楽しむ気持ちを忘れない
- 勉強だけでなく、高校生にしかできないことをやる

★高校生活で自分が最も努力したことは何か



「高校生活で最も努力したことは何か」については、「59.8%が「部活動」、「学校行事」が21.3%、「学業」は18.9%と回答した。六割弱が挙げた「部活動」、「辛い練習を頑張った」、「仲間と一緒に楽しく過ごせた」などの意見が多かった。周囲と励まし合いながら努力し、結果を残した満足感があるようだ。また、「学校行事」では「ク

高校二年間を無遅刻、無欠席で通し、「皆勤賞」を受賞した石井夢月さん(3E)にお話をうかがった。「皆勤は意識したことがない。長期休業中に体調を崩した等、運が良かったのだと思う。二年の秋に部活動でインフルエンザが流行し、同学年が全員感染したこともありたが無事だった。健康管理の秘訣は運動。毎日少しでも体を動かして体力を養うことが大がら勉強も頑張りたい」そう

努力したのは
部活動 約6割

3E 石井夢月さん
「皆勤の秘訣は運動」

ラスの「一体感」や「スポーツ大会前の自主練」が印象深いようである。「学業」では「評定を上げた」、「一日九時間のが楽しい」、「休み時間が楽しい」という記述が見られた。

問は、とても充実していたようだ。「生徒と教職員の仲が良い」という回答も印象的だった。その他にも「部活動の時間が楽しい」、「休み時間が楽しい」という記述が見られた。

大会前の自主練」が印象深いようである。「学業」では「評定を上げた」、「一日九時間のが楽しい」、「休み時間が楽しい」という記述が見られた。

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、卒業式の意味や歴史をご存知でしょうか。今回は、「卒業式」について紹介したい。卒業式とは元々、卒業証書を得て、教育課程を修了したことを認定されたことを祝う式典である。日本では、「学校教育法施行規則」によって定められた学校行事である。卒業式を行うことの意味は、学生生活に折り目をつけ、厳粛で清新な雰囲気を味わい、新しい生活への動機づけを目的としている。日本では、一八七二年の「学制」の施行に伴い、学年ごとに試験終了者に対して卒業証書を授与したこと起源を持つ。その後、明治十年代ごろに現在のような儀式として定着した。日本初の卒業式は、一八七六年に陸軍戸山学校で行われたとされている。中世ヨーロッパでは花を飾ることに「邪氣を払い、健康を祈願する」という意味が込められていた。それが現代に引き継がれた。卒業式や結婚式などの場で身につけることで、相手を祝福することも、厄除けや健康を祈る意味合いがある。卒業式には、このように様々な意味や歴史がある。三年生の皆さんには卒業式の意味を実感しながら、それぞれの進路先での生活を楽しんでいただきたい。

西雲

